

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価								
巡回・窓口相談指導事業	現在、中小企業が抱える経営課題の二本柱と考えられる事業承継の問題と売上拡大に向けた取引のほか、最近では人手不足の機械化への対応策として、生産性向上に向けた取組も重要課題になりつつあるなか、金融や税務といった従来型の経営指導に加え、顧客ニーズや内部環境を把握したうえで、3～5年間の経営計画を策定し、その実現に向けフォローアップする伴走型支援事業を実施する。 前年度と同様、小規模事業者が抱える様々な経営課題に対し、その解決に向け具体的な提案や支援を行い、成果へと繋げる課題解決提案を積極的に行う。 創業に関しても、創業予定者の掘り起こしと創業後の伴走型支援を実施する創業支援相談窓口を引き続き設置する。	・巡回窓口指導実企業数 456社 ・巡回窓口指導延件数 1383件 ・課題解決提案件数 23件 ・事業承継診断票作成枚数 23枚 ・創業支援者数 2名	小規模事業者	目標① 巡回窓口指導延件数 (達成度 96.0 %)			目標② 課題解決提案件数 (達成度 76.7 %)			得られた効果 伴走型支援事業を本格的に開始して3年目となり、小規模事業者の経営相談内容も、事業者では扱った商品・サービスの販路拡大であったり、工業者では先端設備導入に向けた生産力の向上に関する相談・支援が多くなってきており、指導内容の質的向上が図られた。また、事業承継については関心が高く、問題を提議することで様々な悩みや相談を受けることも増えつつある。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	今年度は、働き方改革や消費税率の引上げ、軽減税率の導入等新たな経営課題が発生することも見込まれるため、これまで以上の効率化を図る。	○
				目標達成度 B	必要性 A	目標数値 1440	実績数値 1383	目標数値 30	実績数値 23	目標達成度 B	必要性 A			満足度 A	補足	目標 両方現状維持				
記帳継続指導	記帳機械化の推進により人的資源の乏しい小規模事業者の経理事務の省力化を図るとともに、定期的な経営状況を経営者等が把握することで、適切な経営判断を行えるようにする。また正しい税務知識の習得の機会とし、適正な申告納税の実現を図る。	・指導対象者数 70名 ・指導延回数 712回	小規模事業者	目標① 記帳指導延回数 (達成度 114.7 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 小規模事業者の経理事務の省力化と財務の正確な把握の一助となった。また、財務分析による指導や事業承継、経営計画作成への活用も行うことができた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる	引き続き経営分析や経営計画の作成に積極的に活用できるよう、担当者の能力向上に努める。	○
				目標達成度 A	必要性 A	目標数値 621	実績数値 712	目標数値	実績数値	目標達成度 A	必要性 A			満足度 A	補足	目標 下げる				
講習会等	小規模事業者の持続的発展を支えるための、講習会等を個別及び集団で実施する。集団指導では、近隣の商工会・商会議所と連携し、事業者自らの経営分析を踏まえた事業計画作成支援セミナーやサービス向上と技術習得を目指した講習会等を開催する。個別指導では、税務・金融等の相談会を実施し、専門家による助言・指導を通じて、経営課題の認識及び解決に向けた支援を行う。	・集団指導 8回 参加延人数 32名 ・個別指導 7回 参加延人数 18名	小規模事業者	目標① 集団指導参加延人数 (達成度 103.2 %)			目標② 個別指導参加延人数 (達成度 60.0 %)			得られた効果 経営計画作成セミナーの開催により、事業計画策定についての意識が向上し、小規模事業者持続化補助金等にも積極的に取り組む姿勢が伺えた。 業種別講習会では、技術指導だけでなく、ニーズに合ったサービスの提供による集客力向上が説かれ参加者にサービス志向への変革意識が芽生えた。		総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 ①上げる②下げる	経営計画作成セミナーは次年度も継続し、事業計画策定の定着とマネジメントサイクルの実践について啓蒙の機会を図る。業種別講習会では共催者と連携をより強め、事業者のサービス力向上に繋げる。	○
				目標達成度 B	必要性 A	目標数値 31	実績数値 32	目標数値 30	実績数値 18	目標達成度 B	必要性 A			満足度 A	補足	目標 ①上げる②下げる				
若手後継者等育成事業	青年部員自らがセミナーを計画、実施することで参加者にとってより高い効果や満足度を得ることを目的に「若手経営者等育成セミナー」を実施する。また地域振興の担い手として知識や資質向上を図るため青年部・女性部それぞれ講習会等を開催する。 青年部女性部と異なる視点から地域振興活動の持続的維持基盤を確保することを目的に、個店の経営力強化に重点を置いた「次世代塾」を実施する。	・若手経営者等育成セミナー参加延人数 20名 ・講習会等参加延人数 49名 ・次世代塾参加延人数 2名 ・青年部・女性部各種事業の実施	小規模事業者・青年部員・女性部員	目標① 講習会等参加延人数 (達成度 122.5 %)			目標② 次世代塾参加延人数 (達成度 8.0 %)			得られた効果 青年部及び女性部では関係団体の講習会等に積極的に参加し、また青年部では昨年に引き続き若手後継者等育成セミナーを実施し、見識を深める事ができた。次世代塾では異業種交流展示会への視察を実施し、商談等の契機となった。		総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 C	調査結果 C	満足度 A	補足	目標 ①現状維持②下げる	青年部及び女性部では引き続き能力向上に資する研修等を企画する。次世代塾ではより充実した事業内容を模索し、事業者の見識向上を図る。	○
				目標達成度 C	必要性 A	目標数値 40	実績数値 49	目標数値 25	実績数値 2	目標達成度 C	必要性 A			満足度 A	補足	目標 ①現状維持②下げる				
祭典事業	地域のにぎわい創出及び町内外への地域産業のPRに向け、於大まつり・産業まつりへの商工業者のブース出展等を行う。於大まつりでは、地域の飲食店を中心に露店ブースを設ける。また「於大の力」をはじめ地域の地域資源を発信するとともに地域の特産品等を町内外の住民に向けPRを行う。産業まつりでは、工業ブースも多数設け、企業紹介・自社製品のPR・認知度向上の場とする。	・於大まつり 4月21日(土) (出展事業者 10社、来場者数 17,000人) ・産業まつり 11月10日(土)・11日(日) (出展事業者 33社、来場者数 26,000人)	中小・小規模事業者	目標① 出展事業者数 (達成度 76.8 %)			目標② (達成度 %)			得られた効果 限られた出展スペースの中、出展事業者独自の商品販売及びPRがなされ、売上拡大に寄与するとともに地域住民との交流が図られた。		総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B	調査結果 B	満足度 A	補足	目標 下げる	町行政との連携をこれまで以上に密にし、創意工夫により更なる地域活性化を目指す。	○
				目標達成度 B	必要性 A	目標数値 56	実績数値 43	目標数値	実績数値	目標達成度 B	必要性 A			満足度 A	補足	目標 下げる				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果						ABCD評価		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標
会員交流事業	地域活性化や会員間の相互交流を目的とした事業を通じて、事業者間及び行政との情報交換の機会を設けることで、地域内での事業展開への活用や地域振興の取り組みへの機運を醸成する。	・ 賀詞交歓会、会員親睦事業参加延人数 139名 ・ 各地区運営指導（5地区）120名	中小・小規模事業者	指標 参加延人数 (達成度 95.9%)	指標 (達成度 %)	事業者間および行政等の相互交流のため賀詞交歓会や会員親睦事業、地区総会を実施し、当初の目標に迫る参加者を得ることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	賀詞交歓会会場の制約上、現行の参加者数を増やすことは出来ない。次年度以降も親睦事業も含め現行どおりとする。					
ウエルネスバレー・街づくり事業	ウエルネスバレー構想推進のため、域外からの企業呼び込みと、域内ものづくり企業との商談会「ニーズ発表会・企業展示商談会」の開催支援や、ウエルネスバレー関係機関が開発に加わった健康長寿関連の商品・サービスに対して認定を行う「ウエルネスバレーブランド」の認定支援等の事業に取り組む。 商業・サービス業を主対象とした経営ゼミナール「あきんど塾」を開催し、消費税増税を間近に控え、販路拡大等の取組みを支援するとともに事業の持続的発展に寄与する。また、商店組織への活動支援を行う。	・ ウエルネスバレー「ニーズ発表会」等参加事業者数 4社 ・ あきんど塾参加延人数 20名 ・ 緒川商栄会事業参加延人数 87名	中小・小規模事業者	指標 ウエルネスバレー参加事業者数 (達成度 40.0%)	指標 各事業参加延人数 (達成度 62.9%)	9月に開催されたウエルネスバレー関連事業である企業展示商談会に1社が出席し、製菓企業やデザイナー、さらに大学・研究機関の来場者と有意義な商談が行われ、新規取引先の確保や受注拡大の機会創出に繋がった。 「あきんど塾」は今回も3日間開催し、中小企業が抱える最大の課題である事業継承をテーマに有意義な研修内容となった。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B 調査結果 B	満足度 A	補足 各事業参加延人数が減少したのは、積算する対象事業を見直したため	目標 ①現状維持②下げる	ウエルネスバレーについては、土地利用を今年度の重点取組事項に掲げ企業誘致の相談・支援を行うとともに、従来からの事業をより充実させるため、ネットワークを広げる取組を行う。					
調査・広報事業	小規模事業者にとって有益と思われる情報や国・県等の小規模事業者政策、各種補助金・助成金の詳細について遅滞なく且つ正確に情報発信することで、事業者の情報選択能力を補充するとともに商工会事業についても周知し、理解を深めてもらえるよう努める。	・ 広報誌の発行回数 12回 ・ ホームページによる情報発信	中小・小規模事業者	指標 広報誌発行回数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	様々な補助金が整備されるなかで、小規模事業者が募集期間内に対応できるよう、広報誌とホームページそれぞれの媒体を効率よく活用することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	期日に余裕のない情報が増加傾向にあり、有益な情報を遅滞なく情報提供できるよう引き続き努める。					
雇用促進事業	人手不足が深刻化するなかで、中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定に寄与するため、優良従業員表彰を実施し、従業員の安定雇用及び労働意欲の向上を図る。 また、近隣市町と連携し、新規学卒者を主な対象とした合同企業説明会を実施し、雇用促進に繋げる。	・ 優良従業員表彰者 20名 ・ 合同企業説明会開催 2回 ・ 珠算検定事業の実施	中小・小規模事業者	指標 優良従業員表彰者数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	雇用の安定及び人材確保のために優良従業員表彰者の推薦や合同企業説明会への参加が積極的になされた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	優良従業員表彰については、今後も事業者に周知を行い、利用拡大を促す。合同企業説明会については、諸団体と連携し企業の人材確保に寄与する。					
部会・委員会事業	工業では、町内外を問わず、会員企業の今後の事業発展に寄与すると思われる企業等の視察を2社程度行うとともに、将来のものづくりとひとつつくりのため、産業まつりに工業部会のブースを出展する。 商業では、地域に根差した事業として産業まつり当日に抽選会を開催し、会員事業所の周知を図るとともにまつり当日のにぎわい創出に努める。各委員会について必要に応じて適宜開催する。	・ 部会・委員会活動 41回 ・ 抽選会加盟企業者数 86社	中小・小規模事業者	指標 部会・委員会開催回数 (達成度 136.7%)	指標 抽選会加盟企業者数 (達成度 97.7%)	商業部会では、恒例の産業まつりにおける抽選会を、工業部会では産業まつり会場内で子供を対象にVR体験会を2日間開催し、賑わいの創出に努めた。また、商業ゼミナール「あきんど塾」では、事業継承、WEB・SNS戦略等について学び、新規顧客獲得等の契機となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	商業部会では、抽選会については現行どおりとする。また、一店逸品事業を検討し、商品開発の意欲の醸成を図る。					
福利厚生事業	経営の安定と従業員の福利厚生の充実を図るための各種共済制度の普及と推進。また法律で規定されている定期健康診断に必要とされる受診項目を網羅した健康事業を実施することで中小企業・小規模事業者における従業員等の健康と福利厚生の増進に資することを目的とする。	・ 各種共済制度の普及推進による加入件数 52件 （中小企業共済、小規模企業共済、中小企業倒産防止共済等） ・ 事業所健康診断の受診者数 75名	中小・小規模事業者	指標 各種共済加入件数 (達成度 130.0%)	指標 事業所健康診断受診者数 (達成度 125.0%)	共済制度についてはそれぞれの内容と事業所の必要性を鑑みて普及推進するよう努めた。事業所健康診断は事業所数、受診者数共に増加し、従業員の健康管理に資することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①現状維持②上げる	事業所健康診断の申込者が増加傾向にあるため、開催日数や時間を増やすことを検討する。					

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 東浦町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考															
				目標①				目標②				得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等										
				指標	受託事業所数 (達成度 113.7 %)			指標	達成度 %			総合評価	A		事業 実施 評価 の A	自己評価	事業 者 へ の 調 査 結 果	満足度	補足	目標	今後の展開・改善点等								
労働保険事業	労働保険料の申告・納付、従業員の入退社に伴う届出書類の作成等の事務を受託することで、中小・小規模事業者の事務負担軽減を図る。また労働保険事務を円滑に進めることで、事業主の事業への注力を促し、労働者との良好な労使関係の構築に寄与する。	・受託事業所数 116事業場	中小・小規模事業者	目標数値	102	実績数値	116	目標数値		実績数値				事業場に応じた申請・届出及び適正な保険給付の助言・指導を行い、労務における事務手続きの軽減に一定の効果を発揮した。						総合評価		A	事業 実施 評価 の A	自己評価	事業 者 へ の 調 査 結 果	満足度	補足	目標	未加入事業所に対し労働保険の更なる理解を促し受託増を目指すとともに既存事業所に対し制度改正等新たな情報を適宜提供し、良好な労使関係維持に寄与する。
				指標	各役員会等開催回数 (達成度 91.7 %)			指標	達成度 %																			自己評価	満足度
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体、地域貢献団体との連携や活動を支援を通じて、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展に寄与し、ひいては商工業の活性化につながることを期待できる。	・青色申告会・法人会の役員会、研修会等の開催 11回	青色申告会員・法人会員	目標数値	12	実績数値	11	目標数値		実績数値		税制等の研修を通じて税務に関する知識習得や、税の重要性を認識することができた。会合において異業種間の交流についても一定の効果があつた。	総合評価	A	事業 実施 評価 の A	自己評価	事業 者 へ の 調 査 結 果	満足度	補足	目標	税制改正を中心にわかりやすい資料に基づき税務にかかる問題を投げかけ理解を深められるよう努める。								
産業団体事業	東浦町資源リサイクル推進協議会や日本容器包装リサイクル協会の事業活動に協力することにより、中小・小規模事業者の社会的貢献や循環型社会実現に向けた一助となり、ひいては商工業の発展に資することを目的とする。	・マニフェストの作成枚数 59枚 (マニフェストとは産業廃棄物を処理委託する際に事業者が廃棄物の業者間の流れを確認できるように作成する管理票) ・容器包装リサイクル事業の周知、申込書類の受付	中小・小規模事業者	目標数値	48	実績数値	59	目標数値		実績数値		産業廃棄物の処理委託が増えたことによりマニフェスト作成枚数が増加した。	総合評価	A	事業 実施 評価 の A	自己評価	事業 者 へ の 調 査 結 果	満足度	補足	目標	資源リサイクルを周知するため業種を絞り込み会員拡大を図っていく。PR用チラシを活用し事業周知を積極的に行う。								
				指標	マニフェスト作成枚数 (達成度 122.9 %)			指標	達成度 %			総合評価	A	事業 実施 評価 の A	自己評価	事業 者 へ の 調 査 結 果	満足度	補足	目標	現状維持									
				指標	達成度 %			自己評価	満足度	補足	目標								現状維持										

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。